

第4次地域福祉推進計画 体系図

2024 - 2026

第4次地域福祉推進計画では社会情勢や地域の変化に対応できるよう、計画期間を3年間としています。
“つながり”をキーワードに3つの柱を「基本目標」として設定し、8つの「基本活動」に取り組みます。
地域福祉の推進は「住民主体」であることを念頭に、ボランティアや地域の様々な関係機関と協働して、
小地域福祉活動や当事者支援をすすめていきます。

1

ささえあいですすめる「まちづくり」

基本活動 1～3

- 1 ちょうどいい“おせっかい”ができる地域づくり
- 2 企業や団体との協働による地域課題の解決
- 3 自由で気軽に参加できる“地域の居場所づくり”

3

安心して暮らせる「しくみづくり」

基本活動 7～8

- 7 みんなでささえるネットワークづくり
- 8 地域での自立生活をささえるサービスの充実

2

ともに生きる「いしきづくり」

基本活動 4～6

- 4 人をささえ、地域をつくる“人財”の育成と発掘
- 5 多様性や違いを認めあう福祉学習をすすめる
- 6 当事者が自分らしく活躍する地域をみんなで作る

福祉目標

だれもが つながり ささえあう
いのち輝く まちづくり

“つながり”を養父市のチカラに

地域福祉推進の基盤強化

- 1 地域福祉情報の収集・整理・発信
- 2 社協活動のPR、社協財源確保強化